

県民健康調査 甲状腺工コ一検査結果

甲状腺がんまたは疑いの子ども		167人
		2016年2/15発表
先行検査	本格検査	
甲状腺がん または疑い	116人	51人 <small>※先行検査結果の内訳 (A1:25人 A2:22人 B:4人)</small>
手術を受けた 子ども	101人	16人
がん確定	100人 <small>※良性1人</small>	16人
年齢(震災当時)	6歳~18歳	6歳~18歳
性別	男性38人:女性75人	男性21人:女性30人
腫瘍径	5.1mm~45.0mm	5.3mm~30.1mm
対象人数	36万8000人	38万1000人
対象者	原発事故当時18歳以下	原発事故当時18歳以下+ 事故後1年間に産まれた子ども
実施人数	300,476人	236,595人 (2015年12/31現在)
実施年度	2011年10月~2015年4月	2014年4月~2016年3月

二次検査が必要な子ども (B, C判定)
先行検査 2294人 本格検査 1819人



「東北、あれから5年」チャリティコンサートに参加して
木曜日担当 平岩 章好 医師

3月20日東京都千代田区のイタリア文化会館でイタリアの方が主催するコンサートにパネリストとして招かれました。約500名が参加したこのコンサートは日本の伝統的な歌のイタリア語による歌唱からイタリアオペラのアリアの独唱や合唱など音楽好きな私には楽しいひと時でした。

演奏の合間に3.11に関するスピーチを行いました。私は「福島における小児甲状腺がんの多発と放射線被ばくの影響」と題して国立がんセンターの津金昌一郎氏らの唱える「過剰診断説」の批判を中心に話しました。今、福島では、復興と安心・安全の大キャンペーンが繰り広げられ、政府も福島県も県医師会も甲状腺がん多発の原因として「放射線の影響は考えられない」という見解を保持しています。放射線被ばくによる健康被害をなかったことにして復興計画を強引に進めるようなことは許し難いと訴えました。参加者は若い方が多く演奏会の終了後、7~8名の方から質問や励ましの言葉をもらったりしました。

＜がんまたは疑い 市町村別163人内訳＞

※良性1人、市町村発表なし(先行検査)3人除く

【国が指定した避難区域等の13市町村】

先行検査2011年度実施

- 9人:伊達市
6人:南相馬市 (1人増)
4人:浪江町
2人:川俣町、大熊町
1人:川内村、富岡町
0人:飯舘村、広野町、楡葉町、双葉町、葛尾村

前回2015年11/30発表から
14人増加
赤→本格検査で12人増加
先行検査で2人増加
市町村別公表なし

【中通り】

先行検査2012年度実施

- 40人:郡山市 (5人増)
20人:福島市
7人:白河市
6人:二本松市、本宮市 (1人増)
5人:田村市、須賀川市 (1人増)
2人:大玉村
1人:西郷村、泉崎村、三春町、石川町、
平田村、棚倉町、桑折町、中島村 (1人増)

【浜通り】

先行検査2013年度実施

- 26人:いわき市 (1人増)
1人:相馬市 (1人増)

【会津地方】

先行検査2013年度実施

- 8人:会津若松市 (1人増)
1人:会津坂下町、猪苗代町、下郷町、湯川村

講演活動日誌

「避難・保養・医療」の大原則のもと、放射線はゼロ以外は危険という立場から全国各地に講演に出かけています。少人数でも構いません。是非あなたのお住まいの所で企画して呼んでください。



- ◆講演 湊明医師 (2/11 千葉県)
「ティーチ・インちば 避難・保養・医療を考える集い」
<主催> 原発なくせ!ちばアクション
- ◆講演 布施院長 (2/20 埼玉県)
「井戸川前町長との講演会」
<主催> 埼玉原発アクション
- ◆講演 布施院長 (3/13 福島市)
「いのちの光3.15フクシマ」
<主催> 実行委員会 (日本カトリック正義・平和協議会)
- ◆講演 杉井、平岩医師 (4/17 東京都)
「A2-B-C上映会・国分寺」
- ◆講演 杉井、平岩医師 (4/23 東京都)
「A2-B-C上映会・八王子」

こころ編集委員による

見て歩き ここで小中学校再開!? 飯舘村を歩いて

3月末、飯舘村の菅野村長が、2017年3月避難指示解除、翌18年4月村内での小中学校再開を独断で宣言した。4月7日、同村前田区長で元酪農家の長谷川健一さんに避難先の伊達市の仮設住宅でお話をうかがった。「村のあちこちがフレコンバッグの山。いつ撤去するかも明らかにされてないのに避難解除の時期だけが一方的に決められる。しかもなんの担保もない、『もどる人は(何が起こっても)自己責任で』というやり方だ。こんなふざけた話はない。村長は、『学校のない自治体なんて考えられない』と言って、あくまでも村の『復興』だけが目的。子どもたちの健康はどうでもいいんだ。無理に住民を戻すことが復興なのか。あったっていいべ、学校のない自治体、原発のせいだと告



通学路にはなりえない風景

お母さんの アンテナ

福島さん: やっとうちの方の除染が始まったのよ。
伊達Aさん: うちはまだとくに終わったけど、その後測定には来ないんだよね。
伊達Cさん: うちなんか除染対象外なのよ。市長がCエリア除染やるっていうから選挙で投票したのに。
伊達Bさん: え? 除染やってないの? もう終わったと思ってたよ。だってうちと隣の地区じゃない。線量だって伊達Cさんの家のほうが同じが高かったくらいだよ。
伊達Cさん: そうでしょう! だってさうちの裏なんか20μsvあったんだよ! 市役所から何人が来てさ5箇所くらい測定してそこだけ30センチ四方を削り取っただけなのよ。(地上1センチ)3μsv以上が除染基準なんですよ。それも屋根とか雨樋は除染はしないんですよ。
伊達Bさん: うちの方は1μsv以下でも除染したけどな? どうして同じ市内なのに基準が違うんだろう。
福島さん: えー! 雨樋が一番汚染されてるんじゃないの? ありえないわー伊達市恐るべし。それに国は、年間1msv、1メートルで0.23μsvを目指すことにしてるはずでしょう?
伊達Aさん: 除染してもさ、うちなんか地面の近くより上の方が線量高いのよ。
福島さん: どうして?
伊達Cさん: 周りが森林だから放射線飛んでくるのよ。伊達市は宅地だけの除染だからね。確か他の自治体は宅地から20メートルは除染するっていうところ多いよね。

お母さん4人(福島市と伊達市在住)の除染についてのある日の会話。

伊達市民は放射線に強いのかって! そんな事を伊達市のフォローアップ除染チームの人にいうと健康には影響はないからっていう説明をするのよ。市長曰く "心の除染" ですよ。
伊達Bさん: そういえばこの間うちの近くで森林火災があったね! まる2日間も燃え続けたのよ!
伊達Aさん: 怖いなー! 火事で放射性物質が濃縮されてまた舞い上がって飛んだってことでしょ? そんなことニュースも市役所も言っていなかったじゃない。
伊達Cさん: うちではマスクしたし、洗濯物外には干さなかったよ。線量が上がったかどうかはわからないけど、風の流れたからモニタリングポストのあるところに飛んできてるかどうかなんてわからないものね。
福島さん: 最近火事多いよね。南相馬とか結構、火事のニュースやっているもの。せっかく除染したけど、また放能が降ってきてるってことだよ。
伊達Cさん: 福島市は家の敷地内に保管だったよね。
福島さん: そうなのよ。地面の中に埋めた上に新築の家を建ててしまっ取り出せない状況になっている家があるってニュースでやってたの。
伊達A.B.C.さん: えー! ! !

除染の話は尽きませんね。本当に理不尽な話です。

